

令和6年度中部WIN第7期 第1回 開催レポート

開催日時：令和6年7月26日（金）13:30～17:30
※10:30～12:00に受講ガイダンスを含むオリエンテーションを実施

●主催者挨拶 寺村 英信／中部経済産業局長

中部WINは平成30年度から継続的に実施している取組であり、今年度で第7期を迎えることができた。関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げる。

人材確保、イノベーションの喚起といった点において、女性をはじめとする多様な人材の活躍やそれを目指した職場環境づくりが国全体でも重要視されている背景を受け、本講座のテーマは「共に考える、職場環境マネジメント」とした。

キャッチコピーとして示した「私が変わる、私を変える」のとおり、本講座を、新たな知見や気づきを得、人的なネットワークを築き、組織や地域を主体的に変えていく女性リーダーになるきっかけとしてほしいと思う。



●講演「多様な人材による組織の成長とマネジメント」

安藤 史江 氏／南山大学 経営学部 教授



人手不足の中の労働力確保、国際的な状況や倫理的問題への対応、創造性や生産性の向上といった観点から、多様な人材や働きやすい職場環境は大切である。

昨今、ダイバーシティはダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン(DEI)といった概念へ発展してきた。各社の取組事例からも見られるように、その推進にあたっては、同床異夢(同じ状況でも、人によって見方や考え方が異なる)の可能性を忘れないこと、個人に依存せず整合性のとれたシステムとして機能するのを目指すこと、ロールモデルを追いかめすぎず自分達に適した形を考えることが大切である。

組織として成長していくために、一歩ずつ取組を積み重ねていってほしい。

●講演「多様な人材の活躍に向けた取組事例」

加藤 聡人 氏／加藤精工株式会社 代表取締役

加藤精工株式会社は、1960年に設立した自動車部品製造を営む企業であり、「『ひと』が企業の基盤」という考えで経営を行っている。

会社の永續には多様性が重要だと考えている。社員の声やビジネス雑誌の記事に様々な気づきを与えられ、性の多様性研修や、就業規則・社内環境の見直しなどを実施。また、社内だけでなく社会が変わるきっかけになってほしいという思いで、メディアやイベントを通じて取組事例や背景を積極的に発信している。

取組のポイントは言葉にだけでなく制度として実装すること、経営課題と戦略として関連付けること、データで探り、気づき、先行で試みることである。



●グループワーク「多様な人材を受け入れ、働きやすい職場とは」





Aグループ

テーマ：社員の内発的動機を喚起し、
エンゲージメントを向上させる取組



Bグループ

テーマ：社内外において女性管理職候補の
ネットワーク形成を促進する取組



Cグループ

テーマ：多様な人材が活躍する
「ダイバーシティ経営」に向けた取組



Dグループ

テーマ：性別・世代間等の格差やギャップの
負の側面を解消するための取組



Eグループ

テーマ：離職率低下、社員（特に若者や女性）を
定着させるための取組



グループワークアシスタント (中部WIN運営事務局)